

信濃美術館の全面改築に伴う基本設計（素案）へのご意見と県の考え方について

資料 1

- 1 意見募集期間 平成29年11月21日～12月20日（30日間）
 2 意見数 30件（14通）

番号	区分	ご意見の内容	県の考え方
1	施設全般	善光寺との調和がとれるよう、色使いや素材にもこだわってほしい。	善光寺との関係は、今回の計画の中で最も重要な要素の一つと考えています。実施設計において設計者と検討してまいります。
2	施設全般	最近子どもが周りを気にせず、のびのび遊べる場所は多くありません。美術館なのに子どもが騒いでも大丈夫な施設となれば、全国的にも注目される取組になると思います。物珍しさではない、新しい目線の美術館をつくるのであれば長野の文化レベルはすぐ上がると思います。普通の展示も静かに楽しめ、子どもたちも思いっきり美術館を味わえるような施設を望みます。	今回の美術館は、従来のような鑑賞の場としての機能を重視しつつ、周辺の城山公園と一体となって、誰もが楽しめる機能の両方を調和させることを目指しています。
3	施設全般	子育て世代が気兼ねなく行ける美術館、車がスムーズに止められ、車イスの方も年配の方も楽しめる美術館にしてください。利用者にとって使いやすい施設は絶対に人が集まります。貪欲に集客を狙って、便利な美術館にしてください。	年齢や世代にかかわらず、すべての人々が親しみ、楽しむことができる美術館を目指しています。
4	施設全般	子ども向けトイレを使いやすくしてほしいです。また、スタッフにとってもストレスの少ない施設は、スタッフの質の向上につながり、また集客にもつながります。来る人も働く人もうれしい施設になるとよいと思います。	ユニバーサルデザイン（誰もが不自由なく使える施設づくり）は、今回の計画の中でも重要なテーマの一つとなっており、誰もが使いやすい施設を目指してまいります。
5	施設全般	一人の時間を大切にできる空間（パーソナルスペース）と親子や友達同士で時間を共有できる空間（パブリックスペース）のどちらも含まれる場所になってほしいことから、いろいろな種類の椅子を置くことを提案したい。パーソナルスペースには一人掛けの椅子で背もたれがあるもの、ないものや、色、形、座り心地の違うものを置いてお気に入りの一つを見つけたい。また、パブリックスペースには椅子同士が対面して置かれ、お昼を食べるときに便利な構造、机を取り囲むように椅子が置かれるとよい。	東山魁夷館との接続を含めて展示空間をつなげる動線上にはいくつかの休憩スペースを設ける予定です。無料で利用できるスペースの充実は、今回の計画の中でも重要なものの一つですので、使い方を含めて、引き続き検討を進めてまいります。
6	施設全般	意見・要望 (1)来場者が記念撮影したくなるような入口及び外観デザイン (2)公園内の屋外彫刻を活かした連携	ワークショップでも同様のご意見を多数いただいていますので、ご意見・ご要望を設計者に伝え、今後の実施設計の中で検討してまいります。
7	施設全般	新しい信濃美術館と東山魁夷館の間（現在の信濃美術館がある場所）にあるデッキに、旧信濃美術館のファザードやオブジェなどで使えそうなものが再利用されていると嬉しいです。	現在の信濃美術館の記録・記憶をしっかりと受け継いでいけるよう、様々な可能性を検討し、実現したいと考えています。
8	施設全般	内装はかなりよい印象でした。休憩所としてカフェが設置されていることは観光客に好印象です。通路や空きスペースに簡易ソファが置かれるとさらによくなると思います。また、地域住民や移住希望者向けとして、進路・就職・移住相談会を美術館内のスペースで催すことで、幅広い年代の方々に足を運んでもらえる機会になると思います。 しかし、美術館の大まかな外装を見て感じたことは、SNSに載せたいと思わせる要素、SNSに載せて好評価が得られそうな要素が欠けています。外装はこれまでの美術館を綺麗に塗装し直ただけのように思えてしまい既視感が否めなく、足を運ぼうという気にさせる要素がない印象を受けました。今の外装の案をそのまま使うのであれば、美術館前の広場の整備次第で客足を左右することになると思います。つまり、広場を上手く整備すればよい方向に進むということです。また、美術館周辺の建物や景観の整備を行わないと、せっかくの屋上広場からの眺めが台無しになってしまうので配慮してほしいです。	・美術館の外装については、長野市が検討を進めている公園部分と呼应しながら検討を進めているところです。公園を含めた全体像を公表する段階や実施設計の段階などに改めてご覧いただけるようにしてまいります。 ・周辺整備等に関するご意見は、とても重要なご指摘だと考えますので、今後も関係者と協議を続けてまいります。

番号	区分	ご意見の内容	県の考え方
9	屋上広場	魅力的な屋上広場の提案を活かすよう、使い方・位置付けをご協議願います。 交流スペースのEVを屋上広場にも着床できないか。 ・善光寺側からの屋上広場へのアクセスのしやすさ(ユニバーサルデザイン)を重視したい。 ・屋上広場は眺望の場としてだけでなく、県民活動スペースの延長としても利用したい。 ・高低差のある場所の回遊性を高めたい。	屋上広場は本施設の大きな特徴の一つとなりますので、想定される様々な利活用方法に照らして、有効な場とできるよう、ご意見の趣旨も踏まえながら、実施設計の中で検討してまいります。
10	屋上広場	屋上広場をいつまでも使い続けられるようにされたい。 ・公共施設なので老朽化や危険性が指摘されると屋上広場が閉鎖される恐れがあります。安全性・高耐久建材・難燃・不燃建材等の使用を検討願います。 ・中・高校や小学校、公民館等が周囲にあるので、屋上広場を「発表・活動の舞台」としても利用できる仕掛けがあるとよいと思います。(テント設置用床金物、給排水、電源など)	屋上広場の利活用方法は、引き続き検討してまいります。また、具体的な仕様は、実施設計の中で検討してまいります。
11	屋上広場	東側市道は城山小学校の通学路になっていますが、24時間開放して安全なのか。監視カメラはあると思うが、通学時間帯だけ誰か配置する等、学校と相談が必要ではないか。また、花見の季節には大勢の花見客が終日訪れる場所でもあり、そういった意味でも24時間開放に不安を感じる。	24時間開放するのは、道路沿いの一部の予定です。具体的な利活用については、ご意見の趣旨も踏まえながら引き続き検討してまいります。
12	屋上広場	天候に左右される場所であり、交流スペースや展示スペースとのつながりが見えず独立しているように感じる。例えば、カフェスペースを屋上に設置する、屋上に全天候型の休憩スペースを設ける、交流スペースを屋上広場にも延長するなど、屋上広場の活用方法を具体的にしたほうが今後活かせると思う。	外部空間のため、ある程度天候の影響を受けることはやむを得ないと考えています。屋上広場の利活用方法は、「屋根のある公園」とのつながりを含めて、引き続き検討してまいります。
13	交流スペース	芸術家による体験教室や講演を定期的に関き、参加者が自ら作ってみるようにし、将来の芸術家を産み出す経験等を与えるスペースと機会をつくってほしい。	交流スペースに様々な形態で利用できるワークショップルームを設け、創作活動を組み入れた各種講座を行うことを考えています。
14	交流スペース	交流スペースに「こどもの広場」があることになっているが、イメージ図ではただの広いフロアにしか見えません。以前あったような「木のポールプール」のようなものはないのでしょうか。	交流スペースの使い方と設備については、引き続き検討してまいります。
15	交流スペース	子育て世代は美術的な活動に興味があるのに、美術的な活動が行える施設がない状態です。子育て世代を県内からだけでなく、県外からもひばってこられる施設にしてください。	今回の美術館は、従来のような鑑賞の場としての機能を重視しつつ、周辺の城山公園と一体となって、誰もが楽しめる機能の両方を調和させることを目指しています。
16	収蔵庫	プロポーザルの際、地下の所蔵部分を一部公開できるようにしたいという記載がありました。難しいとは思いますが、もし実現できればこの美術館のウリになると思います。可能な範囲で実現できたらうれしいです。	施設の公開については、運営を含め種々の検討や協議が必要とされますが、ご意見も参考としながら、開かれた美術館となるよう様々な方法を検討してまいります。
17	展示室	地元出身の作家で国際的に活躍された池田満寿夫の作品を後世に伝え残してほしい。信濃美術館は多くの池田満寿夫の作品を所蔵しており、様々なテーマに合わせた魅力ある企画展示が可能である。ぜひ池田満寿夫の作品を常設展示する空間を広くとってほしい。世界的に評価の高いベネチアビエンナーレ版画部門での国際大賞、国際版画家、画家、彫刻家、陶芸家、芥川賞作家や映画監督などジャンルを問わず、活躍されたマルチアーティスト池田満寿夫の作品を紹介することは長野をはじめ全国の若い世代にきっと大きな夢を与えることでしょ。	コレクション展示室内に特定の作家の特別展示室を設けることは考えておりません。しかし、信濃美術館は池田満寿夫の作品を数多く所蔵していることから、様々な機会に池田満寿夫の作品を展示することにより県民の皆様をはじめ、多くの方にご覧いただく機会を設けてまいります。
18	展示室 県民ギャラリー	十分な広さと多種の美術の展示等に対応できる高さや展示用構造等を確保していただきたい。絵画、彫刻、書、工芸、道具、写真、生花、文化財その他のあらゆる美術品等に対応できるようにしてほしい。現代は、光や音や風や水やエネルギーを利用した美術品や体験型の創作物も多くなってきたので、これらにも対応できるようにしてほしい。	・展示室は、国宝や重要文化財が展示できる公開承認施設を目指しています。 ・県民ギャラリーがある「屋根のある公園」は、できるだけ制限を設けずに利用できる場とすることを目指しています。具体的な高さや構造は、ご意見の趣旨も踏まえながら、実施設計の中で検討してまいります。

番号	区分	ご意見の内容	県の考え方
19	県民ギャラリー	市民作品展に当たっての意見・要望 (1)十分な作品展示スペースの確保をお願いしたい。(長野市風景画展の場合、30号、約250点、現在の第一・第二展示室の1.5倍の壁面が必要) (2)県展や北信美術展など大規模展示会の際の企画展示室の貸し出し (3)駐車場からの作品搬入動線の安全性と案内表示(管理用駐車場に駐車しきれない出品者数が想定される) (4)主催者の持ち込み展示パネル(2,400mm×1,800mm)が台車に乗せて入れる搬入エレベーターの設置 (5)高所作業をできるだけ必要としない展示方法 (6)展示スペースに近い備品倉庫の配置 (7)展示用の備品(机や椅子)は軽量のものを選定 (8)15名程が入れ、打合せや食事ができる主催者控室の設置 (9)来場者が座って鑑賞したり、気軽に休憩できる椅子などの配置	県民ギャラリーがある「屋根のある公園」は、できるだけ制限を設けずに利用できる場とすることを目指しています。なお、個別の具体的なご意見・ご要望につきましては、趣旨を踏まえながら、実施設計の中で検討してまいります。
20	多目的ホール アートライブラリー	現代は、デジタル化されたものが多く作成され、またインターネットで閲覧できるものも増えている。そこで、4K、8K等超高解像度のディスプレイと音響装置を備えたビデオ等上映室を備えてほしい。当然防音構造とする。また、このような高解像度のコンテンツをパーソナルサイズで閲覧できるスペースも作ってほしい。データベース内のものを閲覧できたり、インターネット上のものを閲覧できたり、ビデオを見たり、展示物の説明資料とか、参考資料等を検索閲覧できるようにしてほしい。	・様々な用途に使える映像や音響設備を備えた多目的ホールを設置することを考えています。 ・個別の閲覧スペースについては、アートライブラリーの機能を具体化の中で検討してまいります。 ・先端機器は日進月歩ですので、長期にわたり利用することとなる新しい美術館における機器などの仕様は、様々な条件を勘案して検討する必要があります。具体的な仕様を定める実施設計に際しては、ご提案の趣旨も参考としながら検討してまいります。
21	アートライブラリー	アートライブラリーは図書ビデオ閲覧室ということでのよいのか。 展示物以外にもいろいろな美術品等の図書やビデオや写真や複製等を集めた美術図書館を併設してほしい。展示物以外のものを調べたり、普段から美術図書等の閲覧ができれば、結構頻繁に出入りがあり、美術館の入館者が増えるのではないかと。信濃美術館の展示物の冊子や他県や外国の美術館等の国宝〇〇展というタイトルの写真や解説の冊子を集めて所蔵しておけば、見逃したのも最低限写真等で見る事ができる。美術書等は高価なので、美術図書等を揃えておけば、見る人が増えるのではないかと。さらに芸術家を志す人への勉強の基盤資料を提供できる。	「アートライブラリー」は、基本的には美術専門図書館を想定しています。展覧会カタログをはじめ、関連する図書資料を閲覧できるアートライブラリーを開設します。蔵書をインターネットで検索できるようにして、県内美術館の学芸員や大学の研究者・学生等の調査・研究活動を支援するとともに、一般来館者にも開放することを考えています。ビデオ閲覧室の設置については、アートライブラリーの機能を具体化の中で検討してまいります。
22	ランドスケープ	一帯は城址跡ではないのか。史跡等破壊につながらないことを願います。	信濃美術館を建設する予定地は遺跡の範囲に含まれておりませんが、周辺には横山城跡や長野遺跡群があることから、周辺環境を損なうことのないよう長野市教育委員会と密接に連携を取りながら注意深く計画を進めてまいります。
23	ランドスケープ	ランドスケープミュージアムというコンセプトは大変魅力的だが基本設計素案には強く感じられない。建築的には屋上広場を設けてよしとするのか。モエレ沼公園や金沢21世紀美術館のような常設のランドスケープアートや現代アート作品の設置を考えるのか。もう少し遊び心のある設計を期待したい。	素案では、長野市が検討を進めている公園部分をお見せできていません。改めて長野市とともに全体像を公表する機会を設ける予定です。
24	城山公園	現在の公園スペースが狭まるように見えますが、花時計と噴水はどうなるのか。公園のシンボルであり、近隣住民にとっては馴染みの物なので、残す方向でいるのか。	公園部分については、長野市が所管しており、現在、長野市において検討しています。
25	善光寺	世界的に有名な善光寺に隣接する有効性を最大限に活用してほしい。国内外の善光寺への観光客を積極的に誘導するには、可能な限り善光寺側へ続く道には屋根(雨よけ)を設置したほうがよい。また、善光寺関連の展示品を常設コーナーとして設置し、善光寺への観光客をさらに誘導できればよいと考えます。可能であれば、パブリックスペースに無料コーナーとして設置できるとよい。	善光寺との関係は、非常に重要と考えています。引き続き、多方面にわたって協議を続けてまいりたいと考えています。

番号	区分	ご意見の内容	県の考え方
26	案内表示	美術館の入口付近に公園を含めた全体の位置関係が分かるジオラマを置くと視覚障がい者が分りやすい。平面に置いたほうがどこからでも触ることができてよい。	視覚障がい者の方を含め、美術館にお越しいただく全ての方に分りやすい案内ができるよう心がけて計画を進めてまいります。
27	案内表示	信濃美術館の立地は善光寺界隈の一角と言っても過言ではない。信濃美術館の情報発信、広報活動の場に善光寺の前庭ともいべき大門町を活用し、信濃美術館のポスター掲示や映像を流せる広報塔を設置してほしい。複数の広報塔を辿って美術館に着けるとよいのではないかと。	善光寺あるいは長野駅からの誘導は非常に重要なことと考えています。その手法については、皆様からいただいたご意見も参考に、関係者と協議しながら様々な検討を進めてまいります。
28	駐車場	模型を拝見しましたが、駐車場が少なすぎです。路上駐車が禁止されたことで、動物園近くの駐車場は大変混雑しています。地下でも地上でも構わないので複数階にして集客してほしい。立地的に美術館以外を目的とした駐車もあると思うので、展覧会チケットの購入時に駐車券を無料処理する等のシステムを導入するべきだと思う。	美術館を建設する公園内に今以上の駐車場を設けることは事実上困難ですが、非常に重要な課題と考えており、公園管理者である長野市と協議しながら、様々な可能性を検討しています。
29	作品収集	最近、クローン美術というものが出てきており、筆の跡まで忠実に再現したものができるらしい。世界の名作のクローンを収集し、あるいは委託制作し、信濃美術館に収蔵して随時又は要求に応じてリクエスト展示してほしい。	今後、コレクションポリシーを具体化する中で検討してまいります。
30	運営面の検討	今後、障がい者と運営者との運営面についての意見交換の機会をつくってほしい。これまでは、一方的に意見を言ってきたが、今後は運営者の心配も理解し、共有していきたい。	引き続き、意見交換の場を設けるなどご利用いただく方々のご意見を伺いながら進めてまいります。